

オープン・イノベーション

— その背景と効果 —

前橋テルサ2F テルサホール

2013年10月24日(木) 13:40~15:30

入場
無料

講師

高崎経済大学 経済学部
経営学科 教授

せきね まさのり
関根 雅則



■ テーマ

「なぜ今オープン・イノベーションが
注目されるのか？」

～その新しさと時代背景～

■ 講演要旨

近年、企業が効果的なイノベーションを実現するための手段としてオープン・イノベーションが高い注目を浴びています。しかし、自社内のみのアイデアや知識、技術に依存するのではなく、他社ないし他機関のそれらを積極的に取り込むという考え方は、これまでも、提携(アライアンス)や共同研究・開発、ライセンス、合併、合併・買収(M&A)などといった用語をもって議論されてきました。

そこで、本講演では、まずオープン・イノベーションという概念の新しさを探り、その上で、オープン・イノベーションが注目を集める時代背景についてお話ししたいと思います。

【略歴】

1997年 高崎経済大学経済学部経営学科に専任講師として赴任。
2000年 同大学助教授。
2009年 同大学教授。現在に至る。

【専門分野】

イノベーション論、経営戦略論、ベンチャービジネス論

【主な研究業績】

「オープン・イノベーションの背景」
『高崎経済大学論集』第56巻 第1号、2013年。
「戦略的CSRとイノベーション」
『高崎経済大学論集』第53巻 第1号、2010年。
「ビジネス・インキュベータにおける柔軟さの必要性」
『高崎経済大学論集』第51巻 第1号、2008年。



ごあいさつ

一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会

あきやま つとむ
会長 秋山 力

現在、情報サービス産業では、ユビキタスネットワーク環境の完成を背景に、「クラウドサービス」や「ソーシャルサービス」の定着というネットワーク・サービスレベルでの進化が加速しています。また、スマートフォン等の普及・M2M通信の進展というデバイスレベルでの進化があいまって、多様で膨大なデジタルデータ、いわゆるビッグデータがネットワーク上で生成・流通・蓄積されており、今後その活用が革新的なサービスやビジネスモデルの創出などに繋がると期待されています。

いま、このようなICT技術の進歩や社会の変化に対応して私たち地方の企業が生き残るために必要なことは、組織的に情報収集して変化を捉え、その情報を分析して意思決定や戦略策定に結びつける能力といっても過言ではありません。さて、群馬県情報サービス産業協会は、県内情報サービス企業が業界の振興並びに地域の情報化を推進することを目的として設立し、以来、ICTの恩恵を地域社会に浸透させ、情報化支援を通じて県内産業の活性化にいささかなりとも貢献してまいりました。

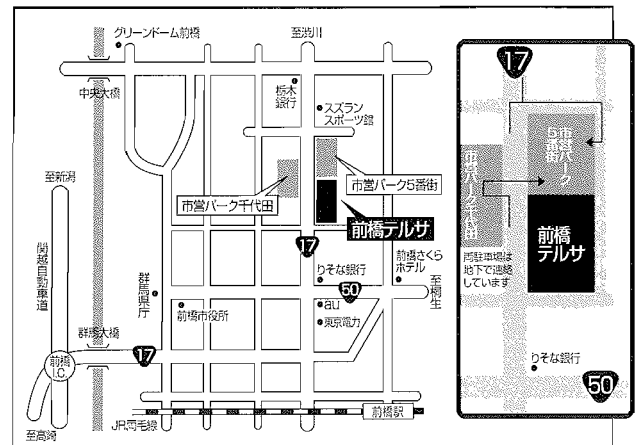
今回で第22回となる「ぐんま情報化フォーラム」は、「オープン・イノベーション—その背景と効果—」をメインテーマとし、高崎経済大学経済学部経営学科の関根雅則教授に「なぜ今オープン・イノベーションが注目されるのか?—その新しさと時代背景—」と題してお話していただきます。

このフォーラムが地域産業の活性化と県民の一層の豊かさの実現にすこしでも寄与できれば幸いに存じます。最後に開催にあたり関係各位のご厚情に心からお礼申しあげます。

■プログラム

- 12:40~ 受付開始
- 13:40~13:55 開会式
- 14:00~15:30 講演

■会場ご案内図



■会場／前橋テルサ2F テルサホール(駐車場無料) ※駐車券を受付へお持ちください。
〒371-0022 前橋市千代田町2-5-1 TEL.027-231-3211
※お車で越しの方は最寄りの市営パーク5番街(5Fでテルサと連絡しています)・市営パーク千代田をご利用ください。

■ぐんま情報化フォーラム参加申込書

当日参加自由

第22回ぐんま情報化フォーラムに参加希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、ファクス又はE-mailでお申込みください。(入場券は発行いたしません。自由席となります。申込者が定員を超えた場合は入場お断りのご連絡をいたします。)

[企業・団体名]	[業種]
[参加者氏名]	
[住所]	[Eメール]
[TEL]	[FAX]

GISA

FAX.027-226-7164 E-mail: gisa@sunfield.ne.jp

主催/ 一般社団法人群馬県情報サービス産業協会
お問い合わせ/ 一般社団法人群馬県情報サービス産業協会 事務局 TEL.027-226-7165